令和３年度第２回千葉市若葉区公民館運営審議会 議事録

１　日　時　令和４年３月１７日（木）１４時００分～１５時００分

２　場　所　千城台公民館２階　ホール

３　出席者　委員１４人中１１人

石川徹委員、糸日谷美奈子委員、小池拓委員、菅原啓二委員、
菅原ひとみ委員、髙橋武勇委員、中島俊哉委員、中村英明委員、
日野敬子委員、布施正勝委員、渡邊千津子委員

事務局

千葉市教育委員会事務局３人

小倉とも子課長（生涯学習振興課）、積田浩二主査（生涯学習振興課）
寺村詠美子主任主事（生涯学習振興課）

千葉市教育振興財団（公民館管理室、若葉区公民館）１０人

小林幹弘室長（公民館管理室）、山田芳久館長（千城台公民館）、
小林秀典館長（更科公民館）、林秀行館長（白井公民館）、
角田昌宏館長（加曽利公民館）、松本清孝館長（大宮公民館）、
三上義昭館長（みつわ台公民館）、伊藤直樹館長（若松公民館）、
小野史博館長（桜木公民館）、大木操副館長（千城台公民館）

４　議　題

（１）報告事項

ア　令和３年度千葉市若葉区公民館利用状況について（1 月末現在）

（２）協議事項

ア　令和４年度千葉市若葉区公民館事業計画（案）について

（３）その他

５　議事概要

（１）ア　令和３年度千葉市若葉区公民館利用状況について、千城台公民館より報告し承認された。

（２）ア　令和４年度千葉市若葉区公民館事業計画（案）について、協議した。

６　会議経過

・　開会
・　若葉区公民館運営審議会委員長挨拶
・　生涯学習振興課長挨拶
・　委員長が議事進行

（1）報告事項

ア　令和３年度千葉市若葉区公民館利用状況について（1 月末現在）

会議資料に沿って、1 月末までの若葉区全体の利用状況、利用人数、利用回数について、千城台公民館より説明する。また、1 月末までの若葉区公民館図書室の整備状況、貸出状況等について説明する。

小池委員長：ご質問、ご意見はありませんか。

各委員：なし

（2）協議事項

ア　令和４年度千葉市若葉区公民館事業計画（案）について

会議資料に沿って、若葉区公民館の事業計画について、千城台公民館から桜木公民館まで順次説明する。

小池委員長 ：ご質問、ご意見はありませんか。

糸日谷委員：みつわ台公民館の放課後カレーおばさんですが、現在新型コロナウイルスの関係でお休みをしているという話を聞いていましたが、4 月からは開催ということでよろしいですか。

三上館長：開催については調理に関する現在の千葉市の基準に照らすと、飲食については中止という指示が出ていますので、感染が減少し基準が緩和されたという状況になれば復活させたいと考えています。来月から実施できるかどうかは分かりませんが、今の状況であれば厳しいと思います。

糸日谷委員：分かりました。楽しみにしているという声をたくさん聞いているので、私も同様に楽しみにしています。

小林室長：只今個別の事業についてご質問いただきました。先ほど各館ごとにご説明した事業計画案ですが、計画案を作成する段階では今後新型コロナウイルスの感染状況がどうなっていくのかなかなか見通せない状況です。各館計画案を説明する中にもぜひ実施したいという思いが表れており、希望的な観測で計画をしている事業もあります。ですから今日お示しした計画がその通り進まないかもしれないことは、申し訳ありませんがご承知おきいただきたいと思います。

菅原ひとみ委員：防災に関するオンラインの講座についての質問ですが、若葉区全公民館が実施するのではないのですね。オンラインはどこからでも視聴することができるのに、なぜ全館で実施しないのかお聞きしたいと思います。

山田館長：基本的にはオンラインが実施できる機材は、千葉市内の中核館６館に配置されていますが全館に揃っているわけではありません。また、職員が機材の取り扱いに熟知していないこと

もあります。今回計画されているオンライン講座の実施については、取り扱いに精通している生涯学習センターの職員から研修を受けました。令和４年度の防災関係講座は千城台公民館がホストとなり、若葉区の地区館３館がサテライトという形で実施していきます。新型コロナウイルスがまん延している状況では、対面式の講座の人数制限はなかなか解除されないということは理解していますので、オンライン講座が実施可能な公民館を少しずつ増やしていきたいと思います。しかしながら、オンラインについて高齢者の方からは、聞き手から質問等できるとしても、人と人とのふれあい感がないので、やはり対面がいいというお考えがあることも事実です。

菅原ひとみ委員：私も生涯学習センターのオンライン講座を受講しましたが、やはり山田館長がおっしゃる通り、話を聞いていても何となく実感がない感じで満足できませんでした。しかし、団塊の世代がどんどん地域に増えています。その中にはパソコンに慣れている方も多いと思いますのでオンライン講座が広がることを期待しています。

小林室長：オンラインの講座ですが、確かにコロナ禍の現在では力を入れていく必要があるので推進しているところです。オンラインの講座と一概に言っても色々なスタイルがあって、ご自宅で視聴していただく講座もあれば、サテライトの会場に来ていただいて受講するというやり方もあります。只今いろいろな方法を模索しているところでありますが、単にオンライン講座を活用して情報発信していけばよいということだけではありません。高齢者の方の中にはIT機器の操作に不慣れで利用できないという方もいらっしゃるので、講座の中にはスマートフォン講座、パソコン講座等、発信した情報を受け取っていただけるような素地を作っていくことも必要であると考えています。そのような中で千葉市は４７館公民館があり、他市に比べて非常に細かく配置されていますので、地域に密着した施設となっています。その地域にふさわしい情報、内容を展開していくことも忘れてはいけないと思います。オンラインに関しては少し時間がかかりますが広げていけるように努力をしておりますのでこれからもよろしくお願いします。

髙橋委員：みつわ台の事業計画の中に、手編み入門という新規事業があります。これが女性限定となっていますが、それは何故でしょうか。

三上館長：女性の方がコロナの影響により、家庭で過ごす時間が増えている状況です。そうであれば家の中での時間を有効に使う手段として活用していただければということで企画しましたが、男性も参加したい方がいるということであれば、柔軟に考えていきたいと思います。

髙橋委員：せっかくの入門講座なので、男性の中にもボケ防止にいいのではないかと考えて希望する人もいるのではないかと思います。

三上館長：おっしゃる通りだと思います。

小池委員長：他にいかがでしょうか。無いようでしたら、私の感想になってしまいますが、今までにテーマとして取り上げている、あるいは新規の事業において防災に関しての講座が多くなっ

ています。昨夜の地震も大きかったので東北の親類に電話をしてみたら、東日本大震災の時にはなかった、本棚が倒れたり、食器が飛び出たりということが起きていて、かなり悲惨な状況になってしまったようです。東京に住んでいる子供を呼び寄せて片づけを手伝ってもらおうとしても、新幹線が動かないということでした。災害はいつどこで起こるか分からない、特に日本は地震を避けて通ることはできないので、防災の知識はとても大事だということを改めて痛感しました。市民から防災の講座を実施して欲しいという要望はないかもしれないけれども、我々の生活には重要なものであると思いますので、企画していただいてありがたいと思っています。このご時世ですから公民館では色々と大変でしょうが、コロナに負けずに創意工夫をして乗り越えてほしいと思います。

（３）その他　なし

・閉会